

# わたしたちの学校 シリーズ⑤

町立の小・中学校の概要や各学校が取り組んでいる特色ある学校づくりなどを紹介しています。

## ◆平川小学校



本年度の重点化した教育活動  
・学力の定着と向上を図る

単式と複式の授業改善と充実  
基礎学力を一人ひとりの子どもたちが身に付けるには、まず教職員自身の実践的指導力の向上を図るという基本認識に立ち、分かる授業の実践、研究テーマに沿った授業研究と改善・充実を目指し、研鑽しています。読書、計算、漢字等作業タイムを実施したり、毎月第3週目に家庭学習強調週間を設けたりして総合的に基礎学力の定着と向上を図っています。

地域とのふれあい活動

今年度から1・2年生が餅米づくりに加わり、全児童と保護者、地域の高齢者が一緒になってふれあい、種まき、代かき、田植え、かかし作り、稲刈り、脱穀及び餅つきまでの一連の活動を行います。3年生以上は総合的な学習の時間で稲の生長を調査したり、食料関連の学習をしたりして内容と方法の面から知の総合化を図っています。

・花いっぱい心潤す栽培活動

校内の花壇や鉢、プランターには日々草、サルビア、ジニア、マリーゴールドなど季節感あふれる花々が咲いています。これらの花は子どもたち、職員が土づくり、移植、草取りをして大切に育てているものです。栽培活動とおして、思いやりの心や自他共に大切にすることを育んでいきます。

全校児童 37人  
学級数 4学級  
職員数 10人

校訓 なかよく かしくく 元気よく  
学校教育目標

夢と目標を目指して、思いやりの心を持って力を合わせ、進んで学び、最後まで頑張る心身共にたくましい平川の子どもを育成する。

キャッチフレーズ

知を磨き  
心と体を鍛える

ふるさとに根ざした平川小

## ◆紫尾小学校



育へと発展させると共に、カブトムシと共生できる学校づくりに取り組んでいます。

・基礎学力の向上

毎朝十分間の読書タイムを実施し、読書好きな子どもが育っています。学期ごとに漢字・計算力テストを実施し、基礎学力が十分に身に付いていない児童にはできるまで、わかるまで徹底的に指導しています。担任も一人一回の研究授業を行い、指導法の向上にも努めています。

・自主活動

水泳少年団は、小規模校の長所を最大限に生かして、きめ細かい指導を行い、さつま町・川薩地区・鹿児島県の大会で素晴らしい成果をあげています。あすなる親子読書会は、大型絵本、創作絵本などを取り入れ、子どもが本に親しみ進んで本を読む子になるよう活動しています。緑の少年団は、緑を愛し、緑を守り育てることを念頭に活動しています。文化財少年団は、紫尾の史跡を訪ねて文化や伝統の重みを学んでいます。

・地域とともに光り輝く学校

地域あつての学校、学校は地域を照らす灯台であることを合言葉に、「地域の方も招いての教育講演会」「老人クラブとの交流」「地域の昔の遊び」「地域の伝統芸能（棒踊り）」「六月灯、敬老会、新年会」への参加など、あらゆる活動を地域と一体となって活動し、地域に根差し、地域で子どもが育つ教育に取り組んでいます。

全校児童 33人  
学級数 3学級  
職員数 9人

校訓

紫尾魂（やる気・負けん気・根気）  
学校教育目標

目標を持ち、想像力豊かで、他と協調し、心身ともに健康で明るく活力ある子どもを育てる。

特色ある教育活動

・カブトムシの里づくり

子どもたちがカブトムシの産卵から羽化するまでの過程を、自然に近い環境の中で飼育・観察することをとおして、「生命」「自然」との密接なつながりに気付かせ、生命の教育・環境教育